

### 総体特集！ 誓いと決起

五月二十五日(金)の陸上部の大会を皮切りに本校の運動部が総体に出発いたします。今月号は、各部の主将の誓いや総体の情報をまとめました。

**陸上競技部**：全員が自己新記録を出し、一点を取る！

(五月二十五日、二十七日、松江市営陸上競技場にて)

**女子バレー部**：常に強気で攻め、最後までボールを追いかけベストを目指す！(六月一日、三日、出商、大社、出雲高校にて)

**男子バドミントン部**：一試合でも多く出来るようベストを尽くす！(六月一日、三日、松江南高校にて)

**女子バドミントン部**：やる気負けず、完全燃焼します！(六月一日、三日、松江商業高校にて)



必勝の誓いを述べるウエイトリフティング部の遠藤君

**卓球部**：自分に自信を持って一点でも多く取り、全員一勝する！(六月一日、三日、出雲市平田町立体育館にて)

**剣道部**：一本一本確実に打ち、勝利を手にする！(六月一日、二日、益田市市民体育館にて)

**ウエイトリフティング部**：ウエイトリフティングは自分への挑戦。1kgでも自己記録を更新できるように頑張りたい。(六月三日、本校にて)

**サッカー部**：一つ一つのプレーを大切に、チーム一丸となり、一勝を目指す！

(五月二六・二七日浜田商業高校、六月一日、三日出雲地区)

**男子ソフトテニス部**：自分の打球に自信を持って、気持ちで負けない試合をするように取り組む。(六月一日、三日、浜山運動公園にて)

**カヌー部**：楽しく漕ぎ、優勝を狙う。一人でも多く入賞を！(六月一日、邑智郡美郷町江の川カヌーレシング会場にて)

### 大好評だった花と緑のフェスティバル

四月二十八、二十九日におこなわれた花と緑のフェスティバルが大好評のうちに関わりました。本校からはハム、野菜苗、草花などを出品し、ほぼすべての商品が完売いたしました。参加していた生徒の感想として、農林の特産物がブランド化してきていると感じた、自分たちが作ったものを喜んで買ってくださいる人がいて、とても嬉しかったなど多くの感想が寄せられた。

### チャレンジショップ

五月九日にチャレンジショップが開店しました。六月の開店予定は二、六、九、十三、十六、二十、二十三日です。



### 企業見学に行きました

三年生の就職希望者が企業見学に行ってきました。植物環境科学科は、大田緑地と村田製作所に、食品動物科学科はヒカワ精工とジェイオー・ファーマ訪問しました。参加生徒は七十二名おり、企業からの求める人物像など真剣な顔で聞いていました。

三年生の就職活動は、九月一日から、県内、県外へ就職試験を受験しに行くことになりす。



真剣な面持ちで説明を聞く生徒達

## 出農の奇跡と軌跡

### 報告 緑化功労者賞

#### 天皇陛下と県知事

四月二十七日に、本校が緑化推進運動功労者内閣総理大臣賞を東京で受賞しました。以下は、本校から随行者として参加した二名の感想です。

**3年環境科学科 飯塚 義信**  
人生のうちにこのような式に出ることが出来て、とてもうれしかったです。七日には、県知事受賞の報告に行きました。それにはたくさんの記者の人がいて、これまた初めて緊張しました。僕も実習で、樹木の移植や植樹をしているので、これからも学校全体でも盛んに行きたいです。

**3年植物科学科 堀内 有実**  
受賞式は、二十分程度で終わりましたが、その後に天皇皇后両陛下や受賞者、関係者の方々とお話をさせていただく機会があり、今まで出雲農林高校が行ってきた緑化活動のことを説明しました。天皇皇后両陛下とお話が出来るとは思っていなかったので、とても良い思い出になりました。

### 「甘くない」・「諦めない」

学校長 佐野 明

一芸に秀でた人に「どうして、達人と言われる程になれたのですか」と問うと、「やめなかったからです」と答える人がけっこういます。やめなかった理由は、「好きだったから」、「意地になって」、「それしか生きる術がなかったから」等々です。

世間で天才と称される人に「あなたは天才ですね」と記者などが言つと、本人は「私は天才ではない」と、とまどったり、ムツとしたり、怒ったりします。そして、時々、周囲から聞かされてくるのは「彼は継続できるという点で、天才かもしれない」、「彼は努力するという点で、天才かもしれない」という言葉です。

自分のできなかったことは何故かを思い起こしてみると、「できるわけがない」と諦めた時と、「こんなこと簡単だと甘く見た時の2点です。この2つの点から、取り組まなかったり、継続しなかったり、努力しなかったりした時には、習得できていません。

天才でも無能でもない私たち凡人は、諦めてしまいうレベルを今より高くし、甘く見てしまいうレベルを今より低くすることが大切でしょう。つまり、諦めない、甘く見ない、という範囲を広げることが大事だろうと思っております。

# 会長就任の挨拶

宜しく願っています」

今年度PTA会長をさせて頂く事になりました。宜しくお願いたします。  
PTA活動は、学校と保護者が一体となり生徒の為に何が良い、何が悪いが話し合う場であり実践していく場と考えています。

先日、PTA総会の中で「できればできる」の話が先生の方からありました。その話を聞きながら思ったことは、生徒達が何事にも一生懸命にチャレンジする事で良い結果が得られ、その結果が生徒達に自信となり将来「進路など」のプランの達成につながっていくと思えました。  
生徒達のそのプランの達成を私達保護者は見守り、また学校と連携する事で生徒達の良い所を伸ばしていくことがPTAの活動であり、役割だと考えています。  
PTA総会で新任のあいさつの時に申し上げましたが、PTAの役員が一生懸命に活動を行っても限界があります。保護者の方々一人一人のお力をお借りしなければ成り立たないと思っています。また、皆様のお力は大きな力強いものになると思っております。  
以上の様に皆様のご協力宜しく願います。

PTA会長 江角 幸治

## 6月の行事予定

日	曜	項	目
1	金		
2	土	出校日	CS
3	日	レタリング検定試験	
4	月	代休(2日)	
5	火	生徒会・農ク・家ク総会	
6	水	CS	
7	木	農ク意見発表校内大会	
8	金		
9	土	危険物取扱者試験	CS
10	日		
11	月		
12	火	第2回PTA評議委員会	
13	水	農ク校内プロジェクト発表会	CS
14	木	一般常識テスト(3年)	
15	金	県国際教育英語弁論大会	
16	土	CS	
17	日		
18	月		
19	火	農ク鑑定競技校内大会	
20	水	全校朝礼	CS
21	木	考査時間割発表	
22	金	SC来校	
23	土	CS	
24	日		
25	月		
26	火		
27	水		
28	木	期末考査	
29	金	期末考査	
30	土		

## PTA総会の報告 年々増える参加者

五月十三日(日)にPTA総会を開きました。今年度の参加者数は昨年度を上回り177名となりました。年々参加者数が増えてきています。科別の学校案内ツアーや本校収穫物の販売などもあり他校の総会とは一味違ったものです。来年度の参加を宜しくお願いたします。

さて、総会の内容ですが新会長、新副会長、新監事が承認され、新規の七名を含む十六名の役員が選任されるなど評議員が一新され、清新な気持ちで今年度のPTA活動に意気込みを各自、表明されました。



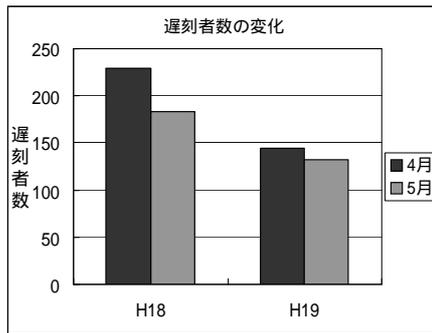
保護者の中には、学校見学を楽しみにしてきておられた方もおられ、野菜やハム、草花など多くの買利物をしておられました。

## PTA新役員の紹介

- 会長 江角 幸治(斐川西)
- 副会長 青木 仁志(出雲一)、飯塚 勝(天社)、青木 治(天社)
- 監事 安田 和子(出雲二)、古田 昌樹(三刀屋)
- 評議員 渡部 晴美(出雲三)、川井 克己(浜山)、田原忠千代(南)、佐田(秦)、美由紀(河南)、小村美紀子(河南)、内藤 雅超(湖陵多伎)、青山 清則(平田)、渡部 昇(旭丘、光)、常松 正巳(斐川東)、土肥 孝史(西部地区)

## 奇跡は起こるのか？

検証 朝掃除のその後  
先月号で紹介した本校の朝掃除の成果を調査しましたので報告いたします。



右のグラフから平成十八年度の四月の遅刻者数は二百二十九名であったが十九年度は百四十五名と八十四名減少しています。五月は二十一日までの比較ですが、こ

ちらも平成十八年度は百八十三名であったの対し、朝清掃実施の今年度は百三十二名と四十八名の減少が見られます。  
遅刻者の減少はもちろん生徒の意識、保護者の協力が大きな力となっていると思いますが、朝清掃の影響も少なからずあるのではないのでしょうか。

現に、今年度の一年生においては四月の遅刻者が一名であり、昨年度の四十五名と比較しても驚くべき減少であった。  
先日この取り組みに対して、会議が行われ一番の成果は、生徒が遅刻と清掃を強く意識し改善を考へ始めたこと。また今後の計画が話し合われ、時程の変更が決定しました。

朝清掃	時間
朝一限	8:40~8:48
朝二限	8:57~9:00
朝三限	9:05~9:55
1限	10:05~10:55
2限	11:05~11:55
3限	12:05~12:55
4限	12:55~13:40
昼休み	1:25~1:34
5限	1:34~1:43
6限	1:44~1:53
終礼	1:53~1:54

## 編集後記

今年度も一年生全員がトウモロコシを栽培します。すでに播種も終わり、畑で芽を出しています。毎朝、畑に来ては水遣りをして生徒達の顔は、早く大きくなれと願っているように見えます。そのような生徒を見ていると、命の大切さを学び、



心豊かな人間に成長してほしいと心から思います。(負)